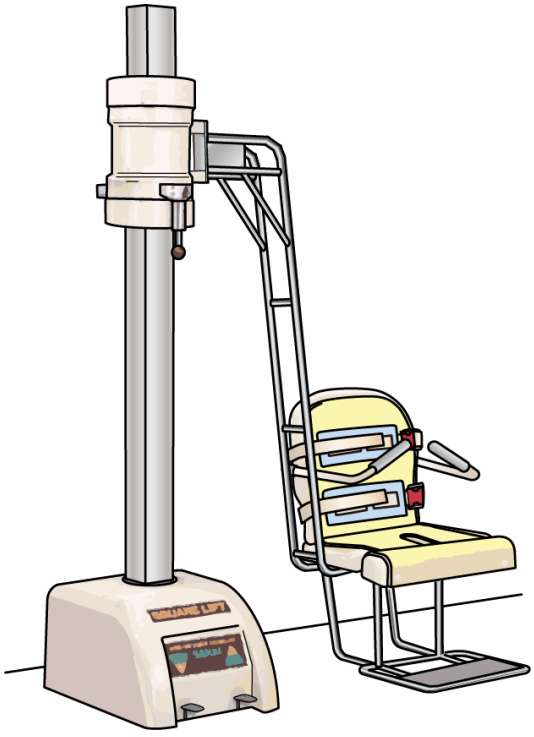
SAKAImed

取扱説明書

SQUARE LIFT

スケアリフト

LIT−2200



✱このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

✱「取扱説明書」は
・1部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。
・1部を保存用として、大切に保管してください。

01-082⑥KZ

もくじ

安全上のご注意 …… 3

各部の名称 …… 6

ご使用になる前に …… 8

- 入浴者の制限 …… 8
- 電源 …… 8

操作方法 …… 8

- リフトの動かし方 …… 8
- 入浴操作 …… 9
- 出浴操作 …… 10
- 椅子上の作業手順と注意点 …… 10

お手入れの仕方 …… 11

このようなときには …… 11

機器の保守・点検について …… 12

保証とアフターサービス …… 13

仕 様 …… 14

用途

本製品は、介護を必要とする方の入浴を椅子に座ったままの状態で、安全に行うことを目的とした装置です。

特長

●椅子一体型

椅子はリフトと一体です。入浴は起座位のまま可能ですが、スライド式足受けを引き出して、長座位での入浴も可能です。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、
各注意事項をよくお読みのうえ、
必ずお守りください。

注意事項を次のように区分しています。

⚠危険 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負うことに至るもの

⚠警告 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの

⚠注意 ・・・ 取り扱いを誤ると、
傷害または物的損害の発生が想定されるもの

絵表示の意味

禁　止：してはいけない「禁止」内容のものです。

強　制：必ず実行していただく「指示」内容のものです。

電源・使用上の注意

⚠危険

座位の保てない人は入れない

座位が保てないと姿勢が保持できず、水没する危険があります。

⚠警告

サービスマン以外は、電源の接続を行わない

正しく接続しないと故障や事故の原因になります。

椅子上での移乗・洗髪・洗身作業時の注意

狭い椅子上での移乗・洗髪・洗身作業は入浴者の転倒や落下の恐れがあります。体位変換作業は、介助者の方向へ抱き寄せるようにして、入浴者の落下を介助者が体で防止しながら十分注意して作業を行い、洗身時はベルトを使用してください。

⚠注意

使用電圧は AC100Ｖ±5%の範囲内で使用する

範囲外の場合には機器の故障及び誤作動の原因となります。

皮膚の弱い入浴者の場合接触部分にタオル等を使う

皮膚が薄くなり、弱くなっている入浴者の場合には、安全ベルトやマット角部等への軽微な擦れで皮膚がけがする恐れがあります。入浴中や入浴後はさらに皮膚が柔らかくなってけがをしやすくなりますので接触部分にタオル等を巻いてください。

この製品は、一部に天然ゴムを使用しています

かゆみ、発赤、蕁麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧低下、ショックなどのアレルギー性症状をまれに起こすことがあります。このような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、医師に相談し、適切な措置を施してください。

⚠ 警告

椅子に乗せたら、必ず手すりを握らせ、2本の安全ベルトを使用する

- 握っていない手が浴槽との間に挟まれる恐れがあります。また、握っていないと上肢が椅子の外側に出て入浴時などにけがをする恐れがあります。握れない入浴者の場合には、上肢を保持するベルトなどを用いるなどして、上肢が椅子の外側に出ないようにしてください。
- ベルトをしなかったり、ベルトの固定が適切でないと、身体がずれて落下したり、ベルトで擦れてけがをする恐れがあります。

安全ベルトを外したときには、入浴者のそばから絶対に離れない

移乗などのためにやむを得ず外した場合、落下する恐れがありますので、とっさの対応が出来るように入浴者のそばから離れないでください。体位変換後や移乗後は直ぐに安全ベルトを再装着してください。

旋回部のロックを確認

アームの昇降前に必ず確認してください。ロックが不充分だと下降時に不安定となり入浴者が落下する恐れがあります。

入浴する前に、必ず手で湯温を確認

熱いとやけどをする恐れがあります。

入浴中の入浴者の状態に注意

水没等がないように、常に看視してください。

⚠ 注意

足受けに必ず脚を乗せる

足受けに乗せないと入出浴時に浴槽の縁などに脚が挟まれけがをする恐れがあります。

椅子フレームの高さを確認

アームの旋回前に浴槽の縁に椅子フレームが当たらないことを確認してください。

アームの旋回はゆっくりと行う

入浴者に不安を与えないようにしてください。

浴槽内の点検

浴槽の中に障害物が無いことを確認してください。

入浴動作中、入浴者の手足に注意

思わぬ所で挟まれる恐れがあります。危険を感じたらすぐに停止してください。

アーム下降の高さに注意

下降させ過ぎると、椅子部が浴室床面へ当たりリフトが故障したり、床面へきずを付けたりしますので注意してください。

ご使用後

⚠ 注意

駆動部には、水をかけない

水がかかると電気系統の故障の原因になります。

使用後は、必ず製品の電源を切る

事故を防止します。

使用後は、必ず換気を行い室内の湿度を下げる

湿気による錆やかびなどの発生を抑えます。特に 24 時間風呂でご使用の場合は、十分に換気を行ってください。

安全ベルトの損傷に注意

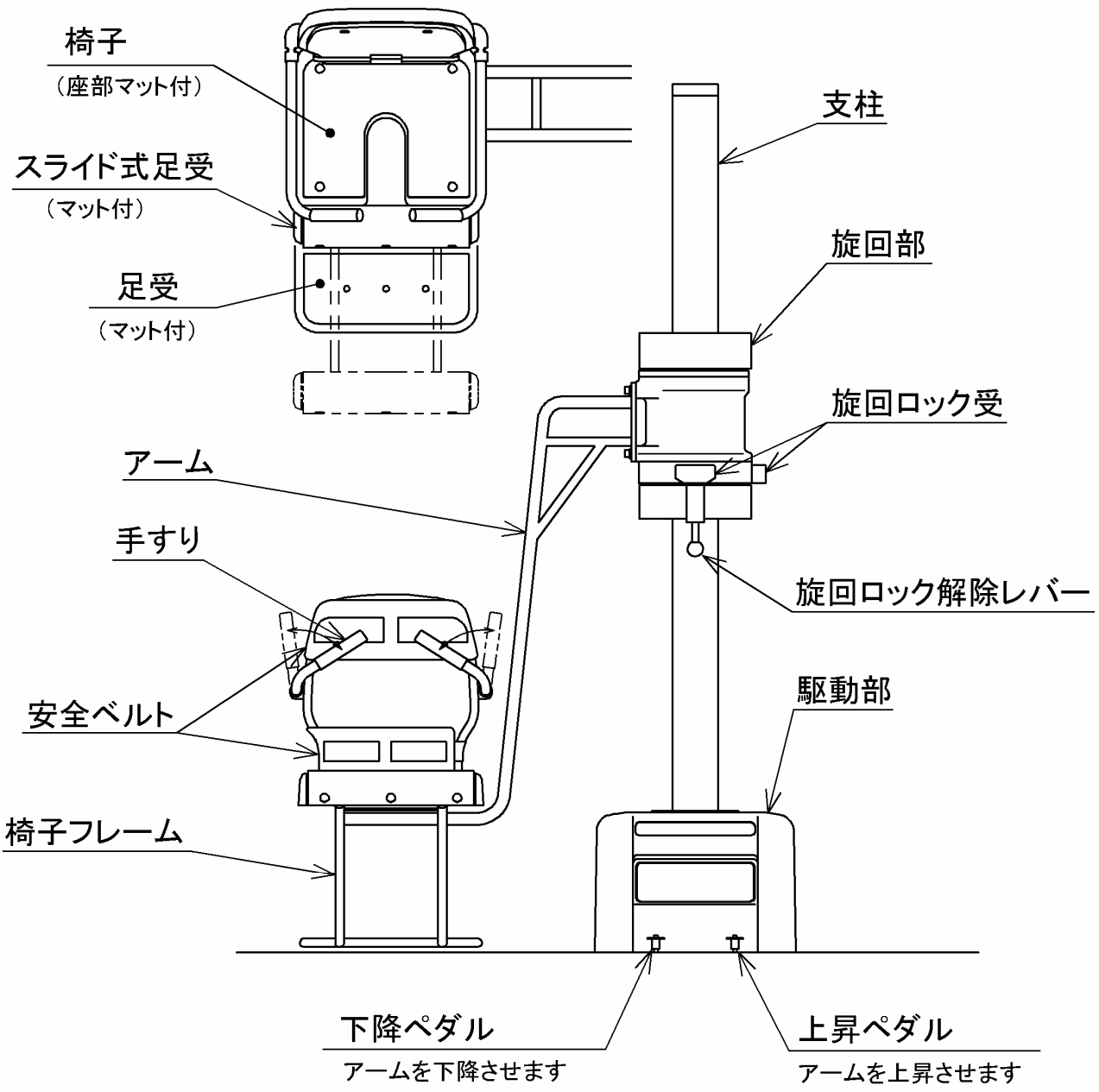
ほころび始めたり、切れかかってきたり、マジックベルトの接合力が弱くなってきたら、新しいベルトと交換してください。安全ベルトの身体固定力が低下すると、思わぬ事故の原因となります。また、ほころびた部分で皮膚が傷つく場合がありますので注意してください。

マットの損傷に注意

古くなって破れたり、マット止めピンがマットから浮き出してきたら、新しいものと交換してください。マット止めピンの浮き出した部分で、入浴者がけがをする恐れがあります。

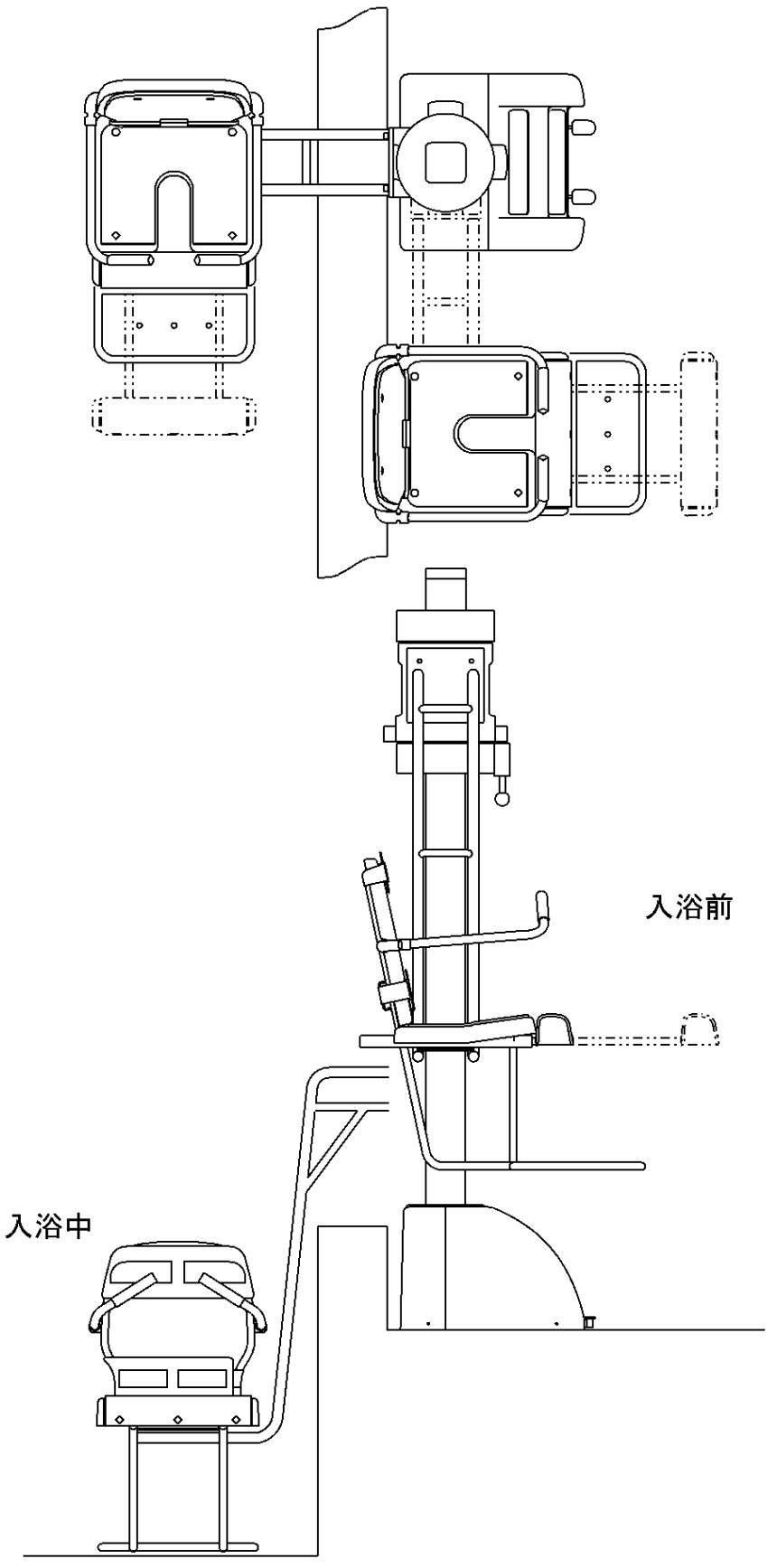
各部の名称

リフト及び椅子



入浴前及び入浴中の状態図

配置により異なります。



ご使用になる前に

ご使用前に本製品についてP.11の**始業点検項目**にもとづき、始業点検を実施してください。またこれ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、電源を切って最寄りの営業所にご連絡ください。

破損、異常を感じたままのご使用は、危険ですから絶対におやめください。

入浴者の制限

本製品は、座位が保てる人を対象にしております。椅子に座った状態を独力で維持できない方や椅子の上で前方や左右に極端に寄りかかった状態や、片寄って座った状態となる方は、本製品による入浴はできません。

> ⚠危険　**座位の保てない人は入れない**
>
> 座位が保てないと姿勢が保持できず、水没する危険があります。

電源

電源のON/OFFは分電盤内のブレーカーの入り/切りで行ってください。

操作方法

リフトの動かし方

アームの上昇　上昇ペダルを踏むとアームが上昇し、離すと停止します。上昇ペダルを踏み続けても、リフトのストローク上限位置で、自動的に上昇を停止します。

アームの下降　下降ペダルを踏むとアームが下降し、離すと停止します。下降ペダルを踏み続けても、リフトのストローク下限位置で、自動的に下降を停止します。

アームの旋回　旋回ロック解除レバーを下に引き、ロックを解除してアームを旋回させ、旋回途中で解除レバーから手を離します。入浴位置または、出浴位置まで旋回させますと旋回ロックが掛かります。

入浴操作

1　アームを入浴者が乗り移りさせる位置まで旋回させて、旋回ロックを掛けます。

⚠警告　アーム旋回後は旋回部のロックを必ず確認

2　椅子フレームが浴室の床面に当たらない高さまでアームを下降させます。

3　入浴者をリフトの椅子に座らせ、手すりを握らせて、安全ベルトで入浴者の身体をしっかり固定します。

⚠警告　椅子に乗せたら、必ず手すりを握らせ２本の安全ベルトを着用する

・手すりを握っていないと上肢が椅子の外側に出て入浴時などにけがをする恐れがあります。

・ベルトでの固定が適切でないと、入浴者が落下してけがをする恐れがあります。

安全ベルトを外したときには、入浴者のそばから絶対に離れない

ベルトを外すと、入浴者が落下する恐れがあります。

⚠注意　安全ベルトの損傷に注意

4　入浴者の脚を状態に合わせて、足受けまたはスライド式足受けを引き出して乗せます。

⚠注意　足受け必ず脚を乗せる

5　旋回するときに椅子フレームが浴槽の縁に当たらない高さまでアームを上昇させます。

6　アームを入浴位置まで旋回させて、旋回ロックを掛けます。

⚠警告　アームの下降前に旋回部のロックを必ず確認

⚠注意　・旋回前に椅子フレームの高さを確認

・アームの旋回はゆっくりと行う

・浴槽内に障害物が無いことを確認

7　アームを下降させて、入浴者の体形及び体調に合わせた水深位置で停止します。

⚠警告　・入浴する前に、必ず手で湯温を確認

熱いとやけどをする恐れがあります。

・入浴中の入浴者の状態に注意

水没等がないように、常に看視してください。

⚠注意　入浴動作中、入浴者の手足の挟み込みに注意

出浴操作

1　入浴時間が経過したら、旋回するときに椅子フレームが浴槽の縁に当たらない位置までアームを上昇させます。

2　アームを出浴位置まで旋回させて、旋回ロックを掛けます。

⚠警告　アームの下降前に旋回部のロックを必ず確認

⚠注意　・旋回前に椅子フレームの高さを確認
・アームの旋回はゆっくりと行う

3　アームを下降させて、椅子フレームが浴室の床面に当たる手前で下降を停止します。

⚠注意　アーム下降の高さに注意

4　車椅子等へ入浴者を移します。

椅子上の作業手順と注意点

椅子へ入浴者を移乗させるとき

1 椅子の旋回ロックを確認します。
2 移乗する側の手すりをはね上げます。移乗と反対側の手すりは、水平状態のままにして入浴者の転倒・落下に注意しながら作業をします。
3 移乗後は、安全のため必ず安全ベルトを着用して、手すりを元に戻して握らせてからリフトの操作をします。

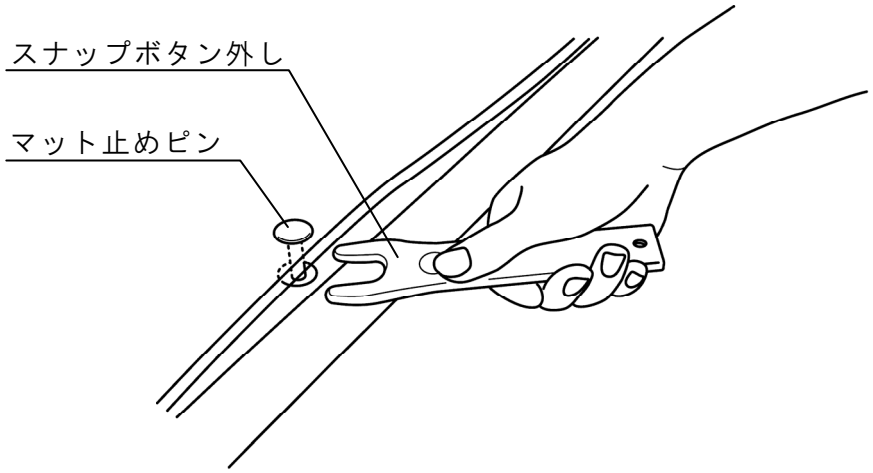
椅子上で洗髪・洗身を行うとき

1 必ず旋回ロックが掛かっていることを確認します。
2 狭い椅子上での体位変換作業は、介助者の方向へ抱き寄せるようにして、入浴者の落下を介助者が体で防止しながら注意深く行います。
3 安全ベルトは、少し余裕をもった長さに調節して、必ず着用します。

⚠警告　椅子上での移乗・洗髪・洗身作業時の注意
狭い椅子上での作業は入浴者の転倒や落下の恐れがあります。十分注意して作業を行ってください。

お手入れの仕方

- 駆動部カバーは FRP 製、椅子の座面はプラスチック製です。たわし等で擦りますと傷がつきますので、スポンジ等の柔らかいもので洗浄してください。また、物を当てたりすると破損することがあります。
- リフトの主柱や椅子のフレーム等のステンレス部は、水滴をそのままにしておきますと水垢が残り汚くなります。乾いた布できれいに拭き取ってください。
- 椅子のマットを外す場合には、マットの端を軽く持ち上げ、付属のスナップボタン外しをマットの下に差し込むとマット止めピンが外れます。（下図参照）マットを取り付ける場合には、マット止めの穴にピンを差し込んで押してください。



⚠注意　マットの損傷に注意

このようなときには

症　　状	原　　因	対　　策
昇降ペダルを踏んでも動かない	製品の電源が入っていない	製品の電源を入れてください 電源を入れても動かない場合は 最寄りの営業所にご連絡ください
上昇するが下降しない	油圧回路のトラブル	最寄りの営業所にご連絡ください
昇降中に変な音がする	シリンダーのトラブル	最寄りの営業所にご連絡ください

●ご使用中に…

万一故障が発生したら、ただちに入浴者を安全な場所に退避させた後、使用を中止して最寄りの営業所へご連絡ください。

機器の保守・点検について

- 本製品については、機器の管理者の方が以下の点検項目にもとづき、必ず始業点検（日常の製品使用前）を実施してください。
- 長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
- **点検時に異常が発見された場合**は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
- 清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施するようお願いいたします。

始業点検項目

区分	点検内容	点検方法
外観	周囲の障害物の有無	目視
	アーム、カバーのガタつき、取付ネジの緩み、脱落	目視 及び、触って確認
	安全ベルトのほつれ、バックルの破損	目視
	マットの破れ及びマット止めピンのはずれ	目視(ピンが穴から単に抜け出しているだけのときは押し込んでください)
	椅子座面部・手すり・足受の緩み、ガタつき	目視 及び、触って確認
機能	アームの昇降	昇降ペダルでアームがスムーズに昇降・停止するか確認
	旋回部のロック	旋回部をロックさせ、力を加えてロックが外れないか確認

✹ 定期保守点検契約のお勧め

製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めします。詳しくは「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、弊社最寄りの営業所へお問い合わせください。

保証とアフターサービス

✹ 保証書と保証期間

- 保証書（別添）はよく読んで大切に保管してください。保証書がないと保証期間中でも代金を請求させていただく場合があります。
- 保証期間は、正常な使用状態で故障した場合、本体フレーム及び FRP 部品は 5 年間、それ以外は 1 年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

✹ 修理を依頼される場合

- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。
  - 機種名 ： *LIT-2200*
  - お買い上げ年月： 年 月
  - 故障状況(できるだけ詳細に)
  - 住所，氏名，電話番号
- メーカーより指示のあるとき以外は、決して開けたり分解しないでください。

✹ 耐用期間

10 年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

✹ 損耗品

（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

- 正常な使用において、交換の目安が**約２年**のもの。
  作動油 / マット(止めピン付) / 安全ベルト
- 正常な使用において、交換の目安が**約３年**のもの。
  手すりグリップカバー / 油圧ホース＆チューブ

点検の時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

✹ 保守部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

仕 様

リフト部	全　高		2220 ㎜
	昇降ストローク		1150 ㎜
	質　量		約 220 kg （リフト＋椅子）
	電　源		単相 100V　50/60 Hz　15Ａ
	電　力		290/370W
	材質	駆動部フレーム	スチール＋塗装
		駆動部カバー	ＦＲＰ
		主　柱	ステンレス
		アーム	ステンレス
	昇降方式		電動油圧
椅子	材質	フレーム	ステンレス
		椅子部	プラスチック（マット付）
		手すり	ステンレス（グリップ付）
	その他		安全ベルト
	付属品		スナップボタン外し

注．仕様は予告なく変更することがあります。